

2026.2Q Financial Results

2026年12月期

第2四半期決算説明資料

株式会社ブロードエンタープライズ

東証グロース（証券コード：4415）

2026年8月12日

FY2026 経営目標

ブロードエンタープライズ

100-100

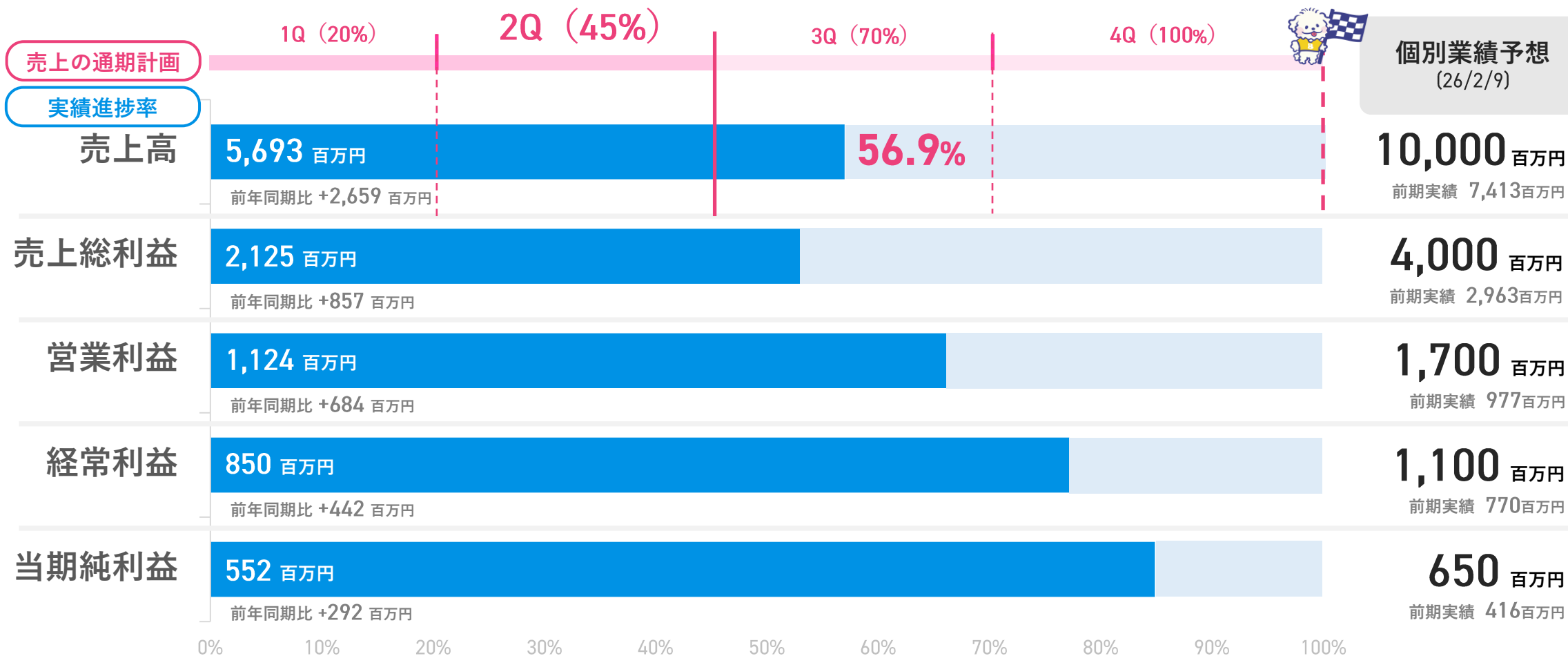
売上高

100億円

時価総額

100億円

上方修正前の個別業績予想に対し、売上進捗は**56.9%**、各段階利益も順調に推移

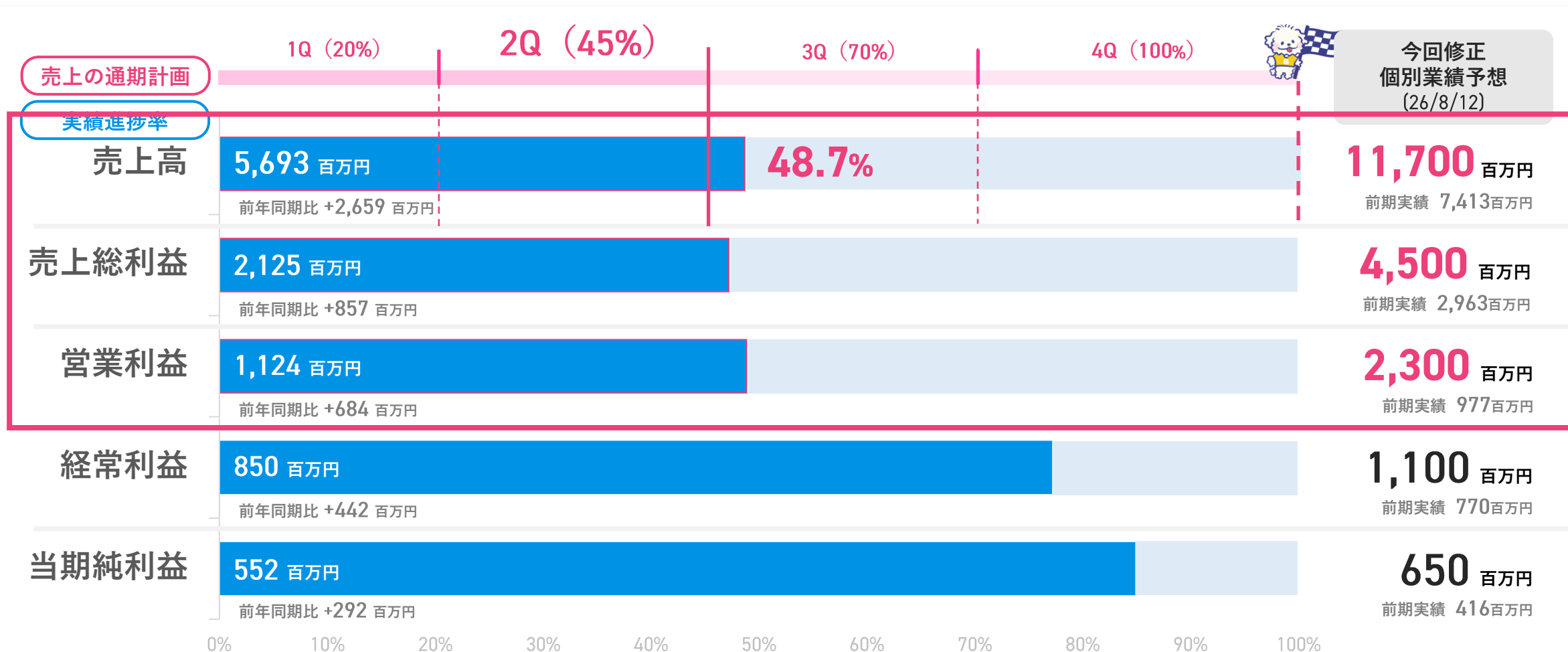


個別業績予想を売上高 **+17.0%**、営業利益 **+35.3%** 上方修正

（単位：百万円）	個別業績予想 (26/2/9)	今回修正 個別業績予想 (26/8/12)	増減額	増減率	上方修正の背景
売上高	10,000	11,700	+1,700	+17.0%	■売上高・営業利益 BRO-ROOMおよびBRO-WALLの受注が好調に推移。 提携する販売パートナーにおける提案ノウハウの蓄積が進んだことに加え、Webマーケティング施策により新規案件の創出が進展。
営業利益	1,700	2,300	+600	+35.3%	
経常利益	1,100	1,100	+0	-	■経常利益・当期純利益 下期において債権流動化を複数回実施する予定であり、これに伴い発生する営業外費用はアレンジャーや債権額により変動し、現時点において合理的に算定することが困難なため、経常利益及び当期純利益は前回公表予想を据え置き。
当期純利益	650	650	+0	-	



上方修正後の個別業績予想に対し、売上進捗は**48.7%**、売上総利益、営業利益も順調に推移



日本中央管理株式会社を連結対象とし、BSの連結は2Qから開始、PLの連結は3Qから開始

■ 連結業績予想について

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結業績予想	12,600	未定	未定	未定	未定

当該買収を含めて算定した売上高の見通しが明らかとなったことから、連結業績予想を開示。

ただし、各段階利益については、現時点において企業結合に係る取得原価の配分が完了しておらず、連結損益に与える影響額を合理的に算定することが困難なため、今後の見通しが明らかになった時点で速やかに公表予定。



変更前

既存

1

株式会社ブロードエンタープライズ
インターネットサービス事業



変更後

既存

1

株式会社ブロードエンタープライズ
インターネットサービス事業



新設

2

日本中央管理株式会社
不動産流通・管理事業



INDEX

	Quarterly Update	
1.	2026年12月期 第2四半期決算概要	P.9
	Topics	
2.	トピックス	P.22
	Initiatives for Growth and Corporate Value Enhancement	
3.	成長性と企業価値向上への取り組み	P.29
	Shareholder Returns	
4.	株主還元	P.31
	Appendix	
5.	参考資料	P.34

1

Quarterly Update

2026年12月期 第2四半期決算概要

売上高・利益共に好調に推移。売上高の前年同期比は**+87.7%**で過去最高を更新

累計期間（2Q）				
（単位：百万円）	FY2025	FY2026		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	3,033	5,693	+2,659	+87.7%
売上総利益	1,268	2,125	+857	+67.6%
営業利益	440	1,124	+684	+155.5%
経常利益	408	850	+442	+108.3%
当期純利益	260	552	+292	+112.3%

トピックス

- 売上高・売上総利益の増加は、BRO-ROOM・BRO-WALLの拡大が要因。
- 下期においては、債権流動化実行時に債権売却損等を営業外費用に計上する見込み。



BRO-ROOM・BRO-WALLに注力し、フロー売上高の成長を促進

累計期間（2Q）				
（単位：百万円）	FY2025 実績	FY2026		
		実績	増減額	増減率
売上高合計	3,033	5,693	+2,659	+87.7%
ストック売上高合計	926	1,011	+84	+9.1%
- B-CUBIC - B-CUBIC Next	926	911	△14	△1.6%
- その他	-	99	-	-
フロー売上高合計	2,107	4,682	+2,575	+122.2%
- B-CUBIC Next	526	467	△59	△11.3%
- BRO-LOCK	207	182	△25	△12.3%
- BRO-ROOM	875	2,638	+1,762	+201.4%
- BRO-WALL	382	1,318	+936	+244.7%
- その他	115	76	△38	△33.7%

累計（2Q）における
工事完了数

■ B-CUBIC/B-CUBIC Next

FY2025.2Q

517 棟

FY2026.2Q

▶ **386** 棟

■ BRO-LOCK

FY2025.2Q

93 棟

FY2026.2Q

▶ **66** 棟

■ BRO-ROOM

FY2025.2Q

254 件

FY2026.2Q

▶ **436** 件

■ BRO-WALL

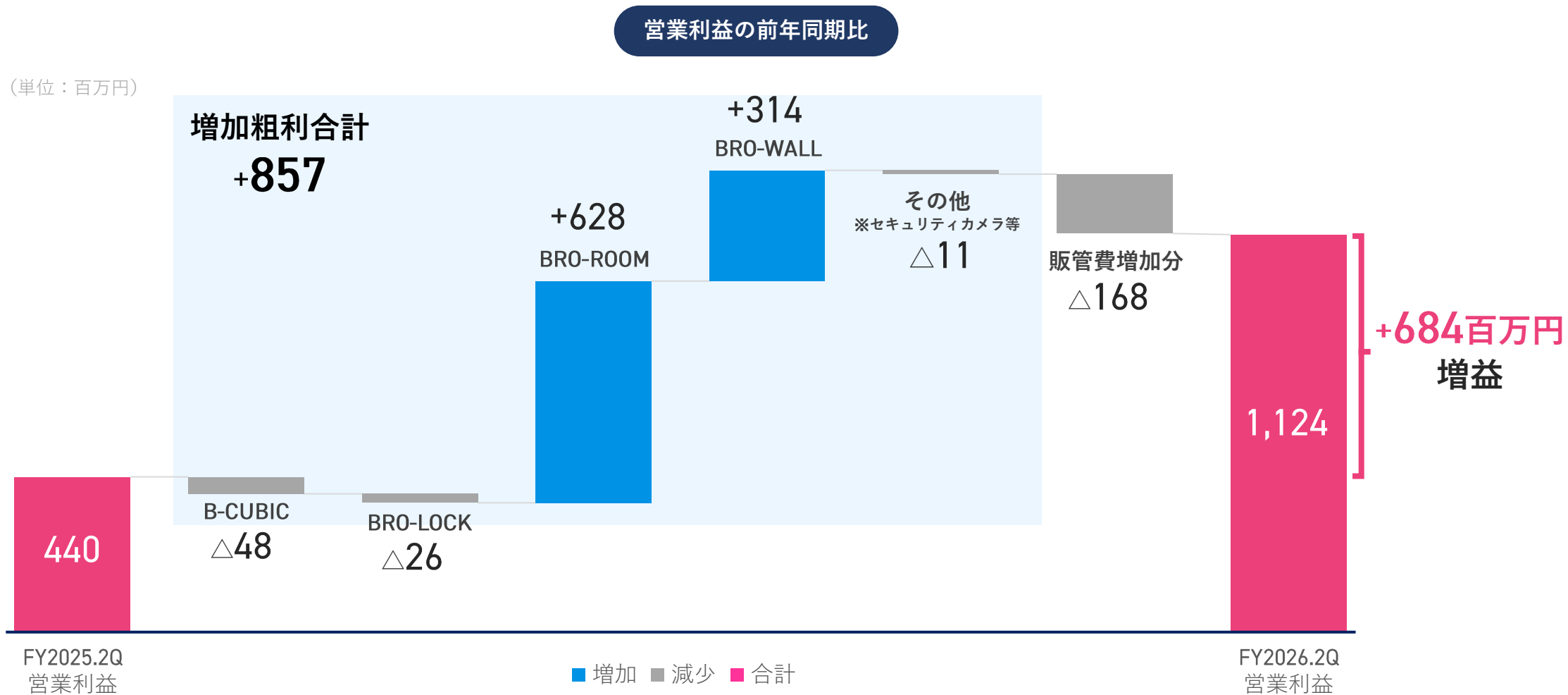
FY2025.2Q

56 棟

FY2026.2Q

▶ **152** 棟

BRO-ROOM・BRO-WALLの粗利が増加し、営業利益は前年同期比**+684百万円**の増益で着地

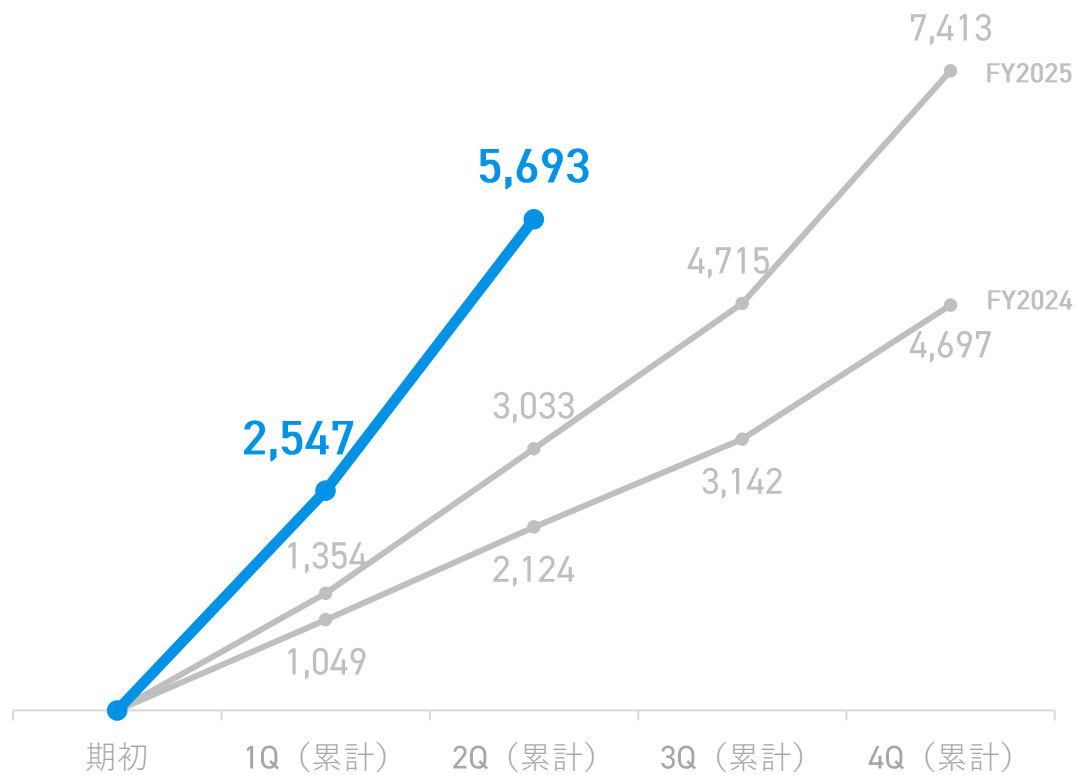


前年同期を上回る進捗

売上高

単位：百万円

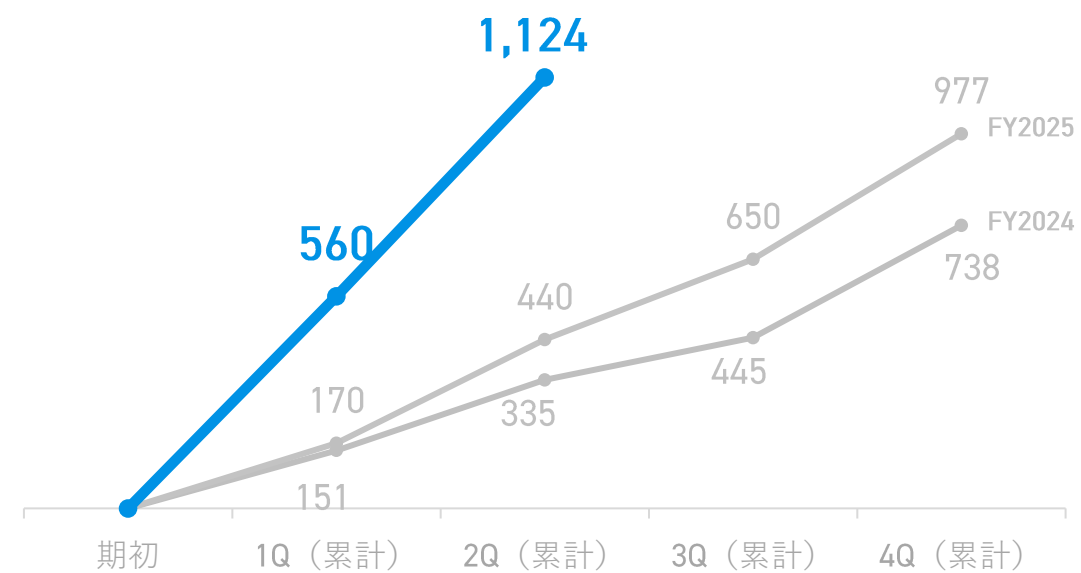
FY2026



営業利益

単位：百万円

FY2026

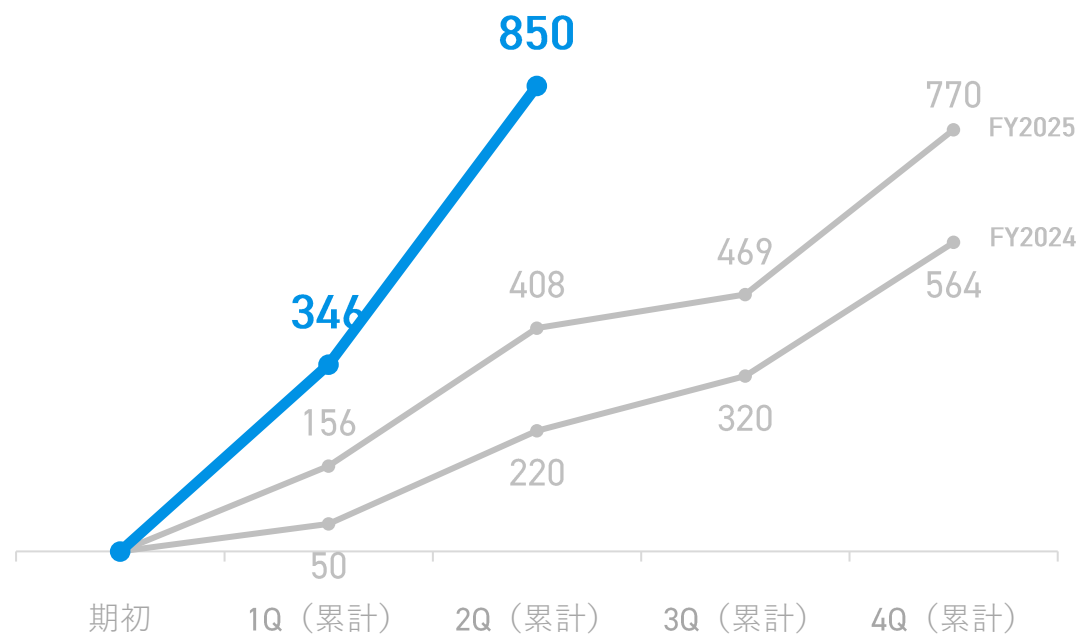


前年同期を上回る進捗

経常利益

単位：百万円

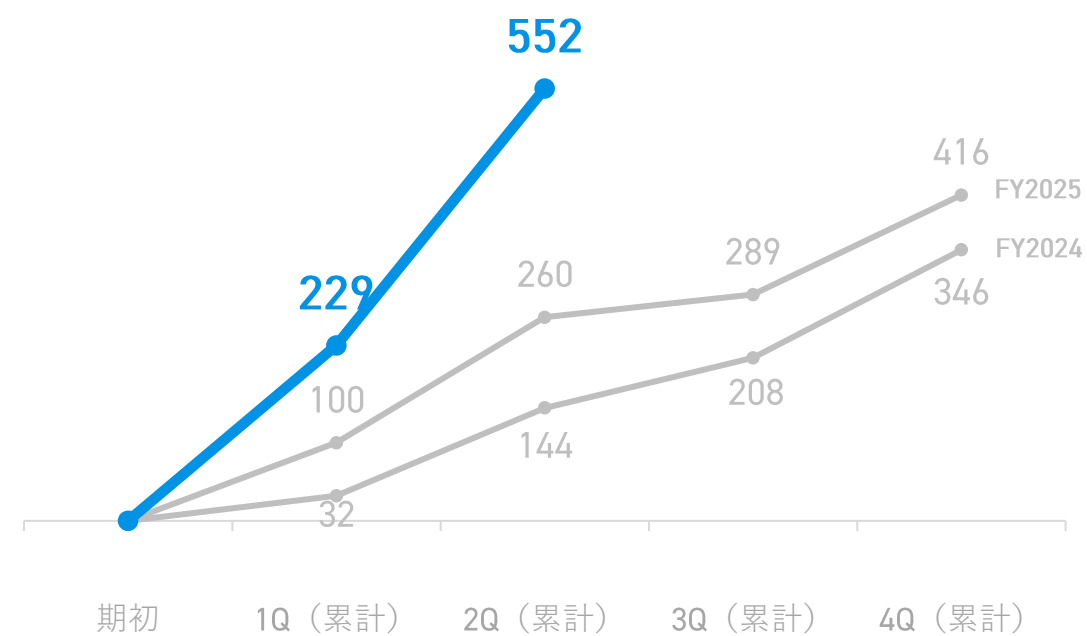
FY2026



当期純利益

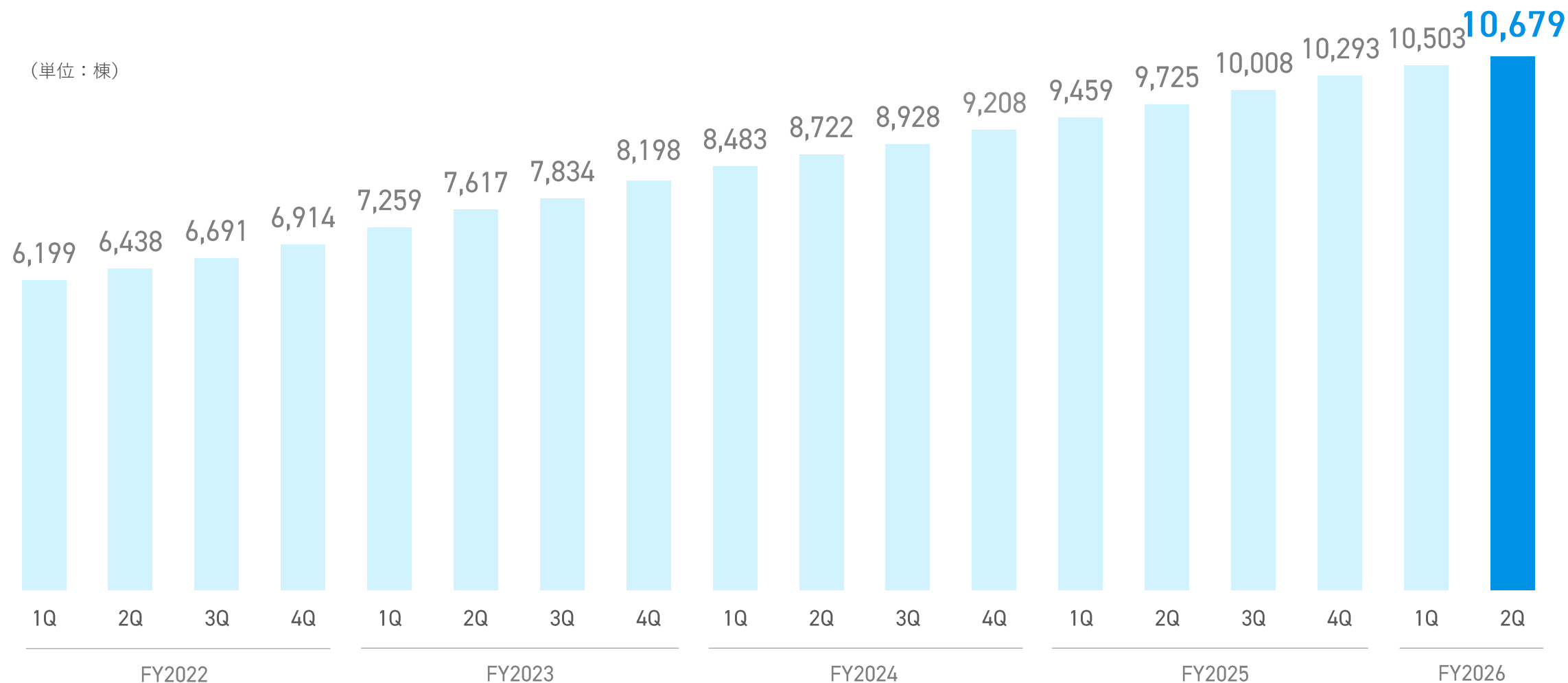
単位：百万円

FY2026



「B-CUBIC」 「B-CUBIC Next」 累計導入棟数¹

(単位：棟)



1. 増加棟数から解約棟数を差し引いた、純粋な累計増加棟数となります。

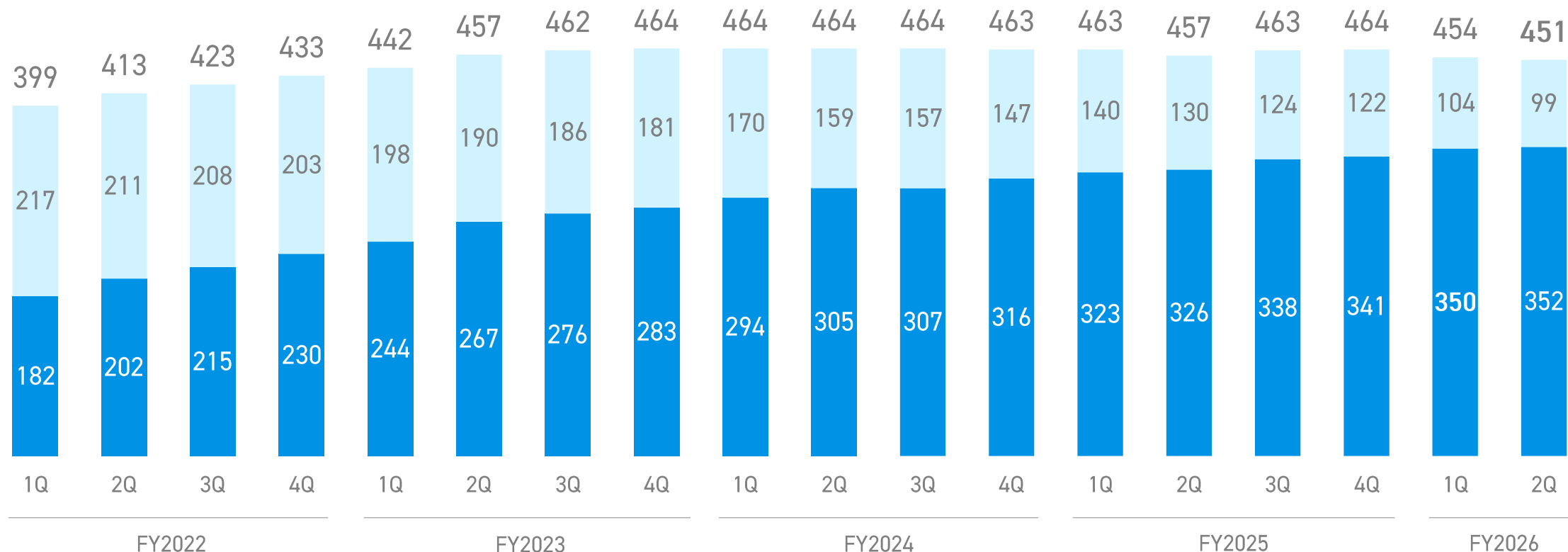


ストック売上高は、新規契約により増加した分とFY2021以前の契約にかかる修正ストック売上の減少（新収益認識基準の影響¹）を合わせて一定に推移

「B-CUBIC」「B-CUBIC Next」ストック売上高推移

（単位：百万円）

■ 純粋なストック売上 ■ 修正ストック売上



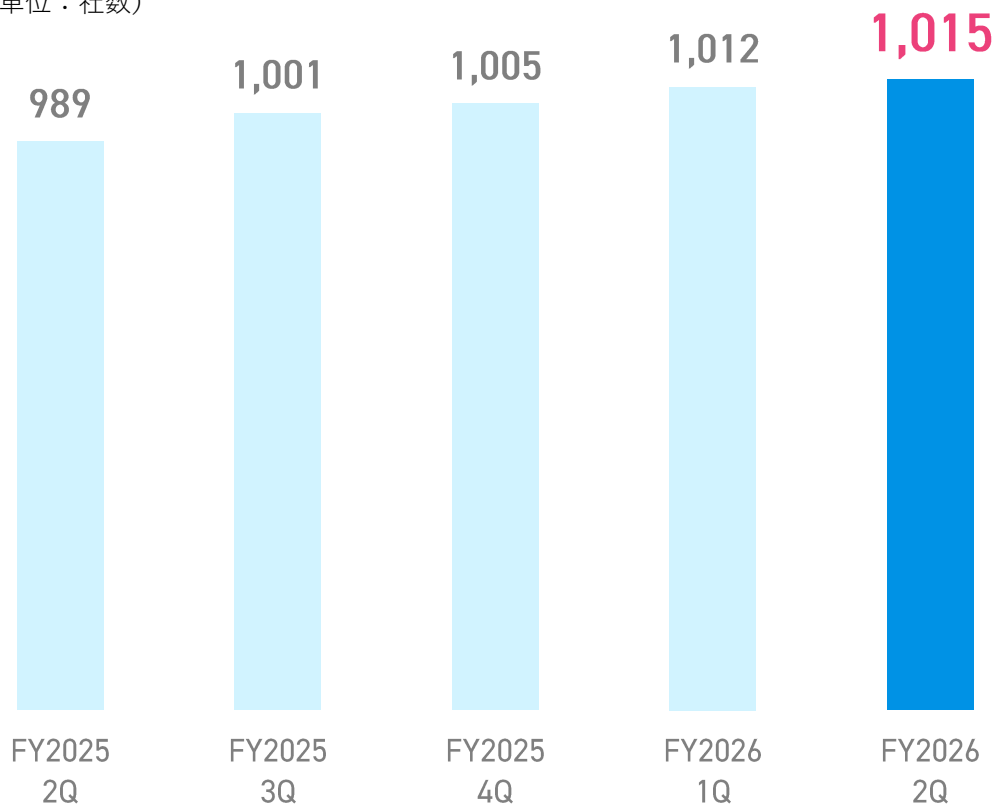
1. 2021年以前の契約から発生するストック売上のうち、工事代売上相当の戻り分に相当する売上（修正ストック売上）については、契約期間満了により計上されなくなるため、その分減少となります。



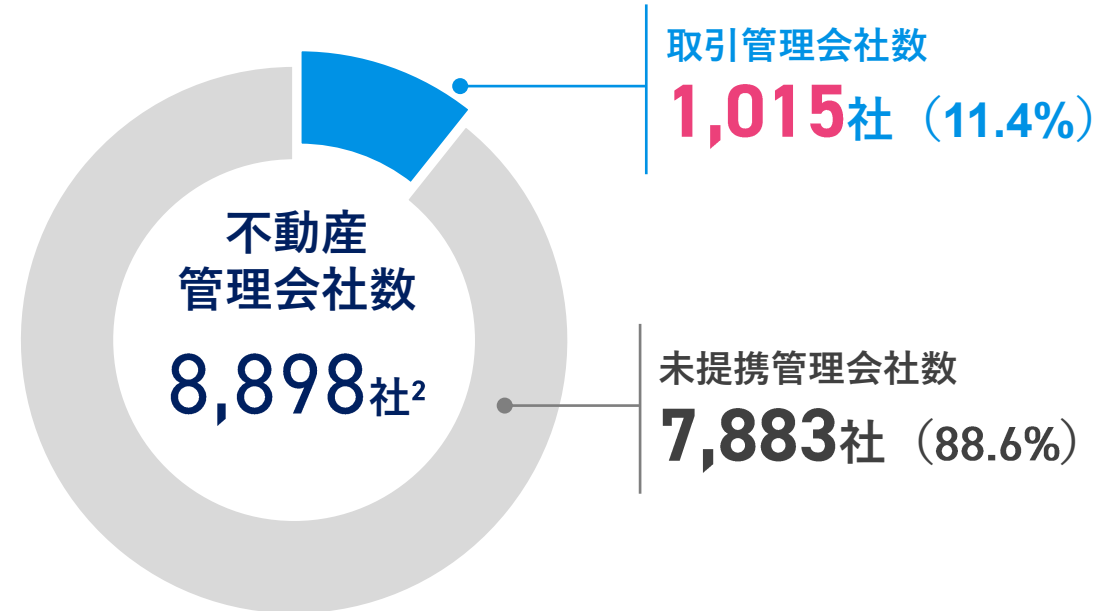
不動産管理会社との新規提携数は2Qで+3社（累計**1,015社**）
未提携の管理会社数は**7,883社**で、まだまだ開拓の余地あり

取引管理会社数（累計）の推移¹

(単位：社数)



取引管理会社の提携割合



1. 当社取引管理会社契約数より算出（2026年6月末時点）

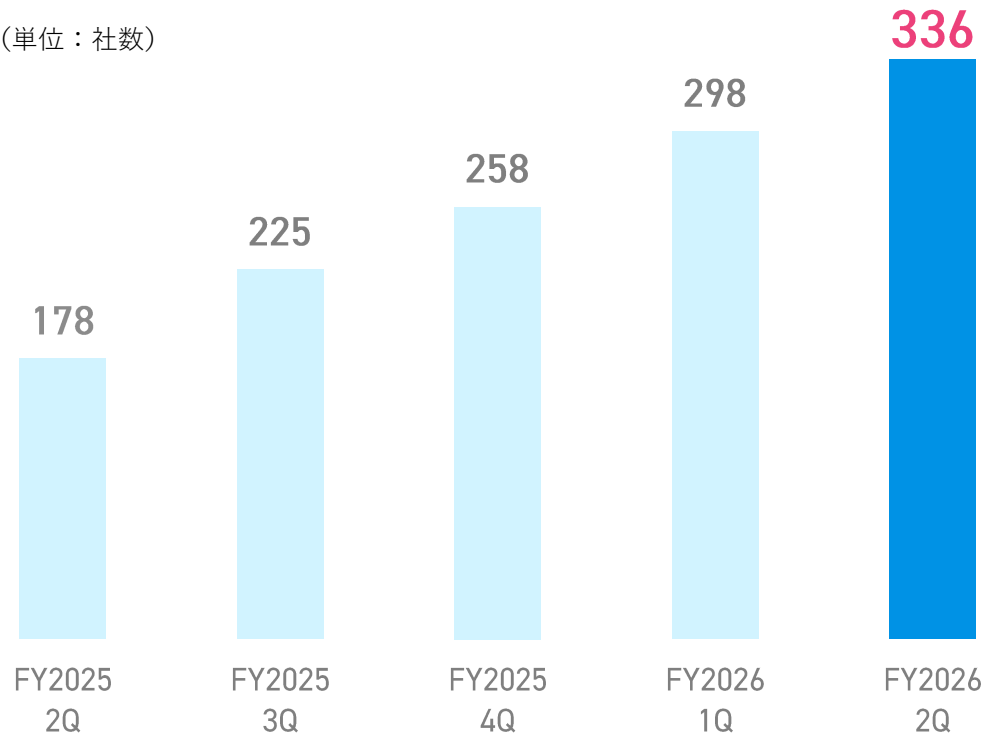
2. 国土交通省 建設業者・宅建業者企業情報等検索システム 賃貸住宅管理事業者登録数（2023年9月末時点）より算出 ※令和3年6月15日施行「賃貸住宅管理業適正化法」にて200戸以上の管理業者の登録が義務付けられたことにより総数が大幅に増加



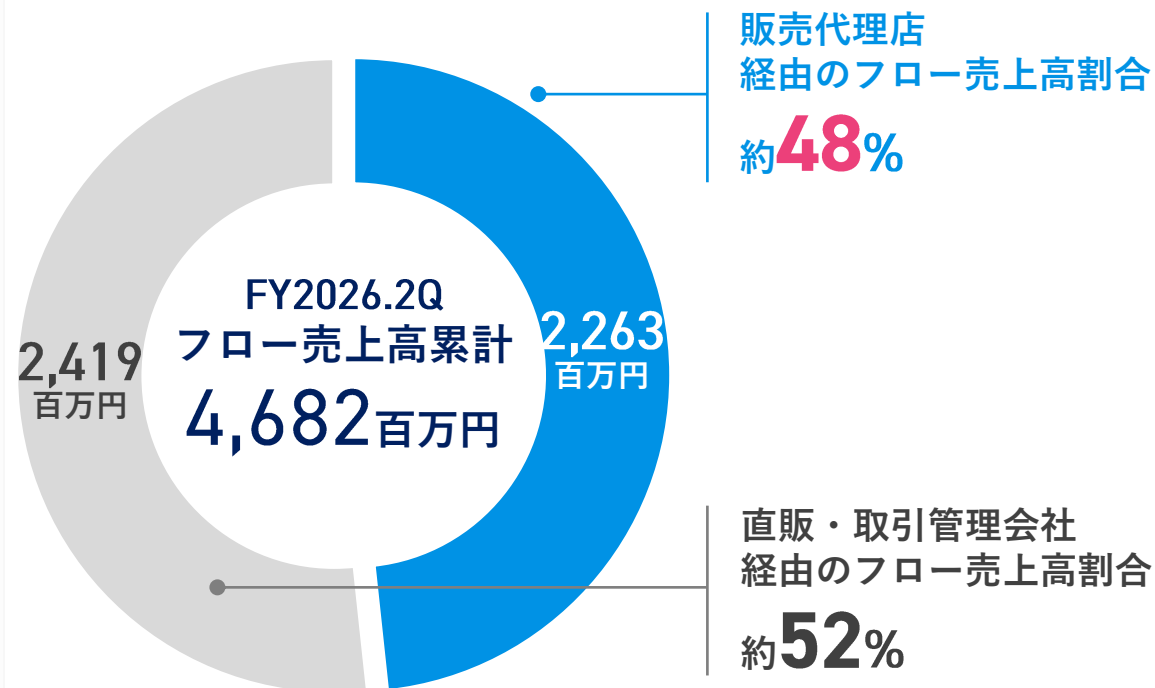
販売代理店との新規提携数は2Qで+38社（累計336社）
販売代理店経由の売上高は約2,263百万円で、総フロー売上高に対する割合は約48%

販売代理店数（累計）の推移

(単位：社数)



フロー売上高の割合



フロー粗利額開示の背景

賃貸マンションや宿泊施設に加え、分譲マンションや地方創生案件など建物種別が多様化したことで一棟あたりの契約単価の差が大きく、棟数・戸数といった単純なKPIでは事業の実態を正確にお伝えできない可能性がございました。そのため、2026年4月より、フロー粗利額の業績予想を参考指標として開示しております。

2026年12月期フロー粗利目標（上方修正後）

2026年12月期売上高個別業績予想11,700百万円の達成に必要な売上総利益（粗利）は4,500百万円。ストック粗利は約800百万円と想定されるため、必要となるフロー粗利は3,700百万円となります。

売上総利益（粗利）

4,500百万円

－

ストック粗利

800百万円

＝

フロー粗利

3,700百万円

実績進捗率

フロー粗利額

1,741 百万円

47.0%

今回修正
個別業績予想

3,700 百万円

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%



（単位：百万円）	FY2025.4Q （実績）	FY2026.2Q （実績）	増減
流動資産	9,890	14,005	+4,114
（内 現預金）	（969）	（2,469）	（+1,498）
（内 売掛金）	（7,235）	（9,264）	（+2,034）
固定資産	878	1,391	+513
流動負債	7,695	10,911	+3,215
（内 前受金）	（1,794）	（1,494）	（△300）
固定負債	1,445	2,304	+859
負債合計	9,141	13,216	+4,074
（内 有利子負債）	（6,226）	（10,349）	（+4,122）
純資産合計	1,627	2,179	+552
負債・純資産合計	10,768	15,396	+4,627
自己資本比率	15.1%	14.1%	△1.0pt

トピックス

■ 流動資産

売上の増加に伴い売掛金が増加

■ 固定資産

子会社株式取得によるのれんが発生

■ 流動負債

主に売上振替による前受金の減少と
運転資金確保による借入金の増加

■ 固定負債

子会社株式取得による借入金の増加

■ 自己資本比率

売掛金及び借入金の増加により自己資本比
率が減少



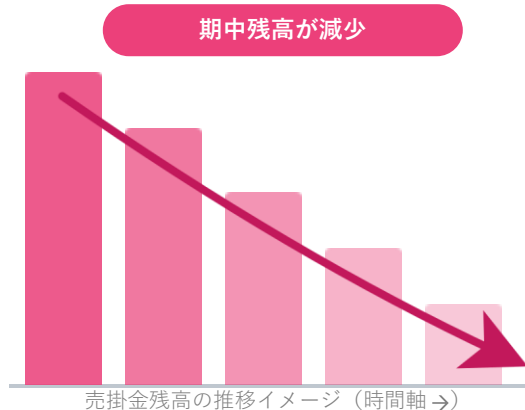
債権流動化の頻度を従来の年1～2回から年3～4回に増やし、資本効率と財務基盤を継続的に強化

債権流動化実行のイメージ

① 売掛金残高

スリム化

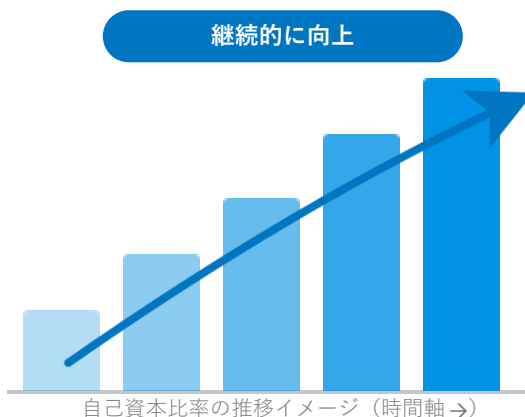
流動化の頻度向上により
期中の残高が減少



② 自己資本比率

向上

総資産スリム化と
利益の積み上げで継続改善



債権流動化の頻度向上による3つの効果

1 資本効率の向上

資産回転の加速により、少ない資本で高い成長を実現。

2 成長資金の自己創出

将来収益を早期に現金化し、成長投資へ機動的に再投資。

3 財務基盤の強化

総資産の圧縮と利益蓄積により自己資本比率は改善。

※ 効果の推移はイメージであり、特定の目標値を示すものではありません。



2

Topics

トピックス

トピックス カテゴリ

- ① 地方創生への取り組み進捗
- ② 外部環境リスクへの対応
- ③ AlbaLinkと業務提携
- ④ 債権流動化を実施

兵庫県 城崎町にて、2026年9月より宿泊施設をオープン

景観と温泉文化が息づく「城崎温泉」の町

「まち全体が一つの旅館」という考え方で知られる城崎温泉は、外湯めぐり・柳並木・温泉街の景観を目的に、国内外から多くの観光客が訪れる兵庫県有数の温泉地です。

一方で、**旅館・宿泊施設の後継者不足、建物の老朽化、空き家の増加**など、地域として解決すべき課題も顕在化しています。

当社では、**城崎温泉旅館組合と連携**を取りながら、町の魅力を損なわず、地域に根差した滞在拠点として再生できる空き家の活用を検討しています。自治体・旅館組合と協議を重ね、城崎温泉の文化と調和した体験型コンテンツの企画を進行中です。

観光人口

約60万人/年

地域の課題

空き家・遊休不動産の活用

※観光人口は地域公表データ等を参考にした概数です。



城崎温泉 一川べりの柳通り



対象物件外観



コンセプトブース

佐賀県 鹿島市と、伝統的建造物の宿泊施設化を協議中

祐徳稲荷神社と肥前浜宿の歴史ある街

日本三大稲荷の「祐徳稲荷（ゆうとくいなり）神社」や「肥前浜宿（ひぜんはましゅく）の酒蔵群」が魅力。嬉野・武雄（うれしの・たけお）温泉も近く、観光資源に恵まれます。

観光人口は **年間 約340万人**。

宿泊施設が不足し、滞在の受け皿づくりが課題です。

観光客の滞在時間を延ばし地域消費の拡大を目指します。

観光人口

約340万 人/年

観光名所

祐徳稲荷神社・肥前浜宿

地域の課題

宿泊施設不足



祐徳稲荷神社 — 日本三大稲荷のひとつ



協議中の物件外観

～ 茅葺（かやぶき）屋根の**伝統的建造物**
を対象に協議中 ～

- ・歴史的建造物への**体験型宿泊施設**として企画
- ・地元酒蔵様に全面協力いただき、酒蔵見学ツアーを企画
- ・食事付き宿の提供を実現するため、地元飲食店様と連携して企画

※ 自治体・関係者と協議中の案件です。観光人口は地域公表データ等を参考にした概数です。

業績に与える影響は軽微であるものの、事業上のリスクとして継続的に注視

外部環境の現況

中東情勢に起因する原油・ナフサ価格の変動を受け、資材・建材の市況は上昇基調が継続しております（建設資材物価指数は前年同月比＋5.2%※）。※出典：一般財団法人建設物価調査会「建設資材物価指数」（2026年6月・建設総合・前年同月比）

当社の状況

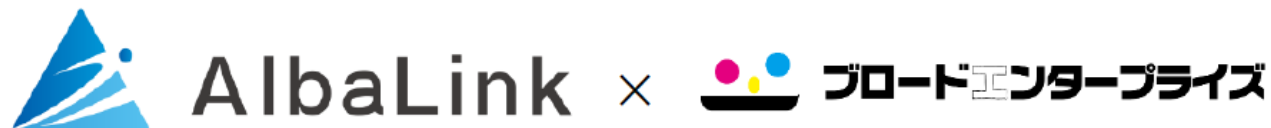
資材・機器の仕入価格は、一部で上昇したものもありますが、第1四半期に見られた供給の遅れについては、当四半期において発生していません。

今後の方針

今後も市場環境の動向を注視しつつ柔軟に対応するとともに、業績に重要な影響を及ぼす事象が生じた場合には、適時適切に開示してまいります。



不動産オーナーネットワークと資金調達ソリューションを連携し、両社の事業機会拡大を推進



提携の背景及び目的

AlbaLinkは、空き家等の低流動性不動産の買取再販・利活用を全国展開し、年間約20,000件の空き家相談¹、累計買取4,500件以上²、60自治体との連携³の実績を有します。当社は、手元資金や与信枠を温存してリフォーム等を行える独自スキーム「BRO-ZERO」を提供しており、本提携により両社の事業成長を目指します。

業務提携イメージ



**入口はAlbaLink、開業準備はBRO-ZEROで投資を止めない！
「一度うまくいく」ではなく、「投資し続けるオーナー」に！**

1. 2025年12月時点 3. 2026年7月10日時点



実施概要

BRO-ZERO関連の売上債権 約26億円の流動化を、2026年8月下旬から9月上旬にかけて実行予定。2026年2月に続く本年2回目となり、「年3～4回実行」の方針（P.21）に沿って継続的に実行してまいります。

財務効果

将来収益の早期資金化により、第2四半期末の売掛金残高9,264百万円に対し約3割相当を圧縮。回収資金は成長投資・運転資金へ機動的に再投資し、総資産の圧縮を通じて自己資本比率の改善に寄与します。

会計処理

債権売却損は、第3四半期の営業外費用に計上予定。下期はさらに複数回の実施を予定しており、費用額が現時点で確定しないため、経常利益・当期純利益の通期予想は据え置いています。



3

Initiatives for Growth and Corporate Value Enhancement

成長性と企業価値向上への取り組み

グロース市場全体・高成長企業と比較して、**当社の予想PERは相対的に低位** 事業成長・IRによる認知・財務改善により、“**成長株**”としての評価獲得を目指す

■ 予想PER（FY1・会社予想ベース）の比較

グロース市場全体
予想PER中央値

今期黒字予想の454社



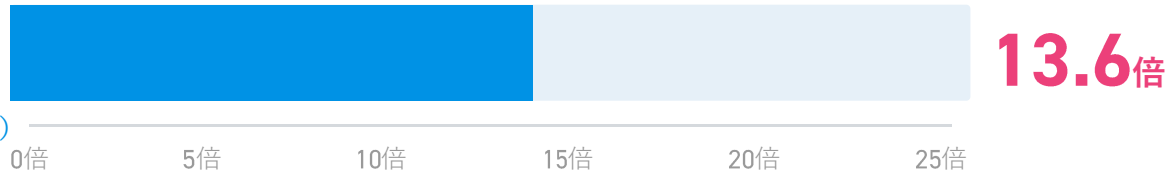
高成長企業
予想PER中央値

今期予想増収率30%以上の94社



当社（4415）
予想PER

ブロードエンタープライズ
予想増収率 +57.8%（上方修正後）



■ キーメッセージ

当社は今期**予想増収率+57.8%**（上方修正後）と高成長を見込む一方、予想PERは**13.6倍**で、グロース市場全体の中央値**17.1倍**、予想増収率30%以上の高成長企業群の中央値**20.2倍**のいずれも下回っています。

留意点

- 数値はFY1（会社予想）ベースの予想PER
- 赤字予想・未定の会社は 算定不能のため除外

※予想PERは2026年8月3日時点の株価÷今期会社予想純利益（FY1）。母集団：グロース市場全上場596銘柄のうち今期黒字予想の454社（市場全体中央値）。うち今期予想増収率（今期会社予想売上高÷前期実績売上高－1）30%以上の94社の中央値20.2倍。

※SBIグループ「株予報」データより当社作成。当社数値は2026年8月12日公表の個別業績予想修正（修正後売上高11,700百万円）に基づく。



4

Shareholder Returns

株主還元

当社株式の投資魅力および流動性の向上を目的として、株主優待制度を変更および拡充

①優待品の主体の変更

現行はQUOカード主体の優待であるところ、**デジタルギフト®**を主体とする優待へ変更

※従来の優待品であるオリジナルQUOカードも選択可能

②優待金額の増額

保有株式数	変更前	変更後
100株以上200株未満	QUOカード1,500円相当	デジタルギフト 2,000円相当（半期では1,000円）
200株以上400株未満	QUOカード2,000円相当	デジタルギフト 4,000円相当（半期では2,000円）
400株以上	QUOカード3,000円相当	デジタルギフト 8,000円相当（半期では4,000円）

③継続保有要件の見直し

現行の「**1年継続保有による権利確定条件**」を撤廃

④実施頻度の変更

現行の年1回（12月末を基準日として実施）から、**年2回（6月末および12月末を基準日として実施）へ変更**

⑤変更時期

2026年6月末日現在の株主名簿に記載または記録され、かつ1単位（100株）以上の当社株式を保有されている株主様を対象として、変更後の株主優待制度を開始。6月権利確定の株主様には同年9月下旬までに発送、12月権利確定の株主様には翌年3月下旬までに発送を予定



今期の配当政策として、税引後当期純利益5億円以上（個別業績）で配当性向20%を実施予定

FY2026	個別業績予想
売上高	117億円
営業利益	23億円
経常利益	11億円
当期純利益	6.5億円

FY2026個別業績予想では
税引後当期純利益
6.5億円

→ 1株あたり21円16銭※を予想

※2025年12月31日時点の発行済株式数6,145,000株、税引後当期純利益額6.5億円を基準としています。

※あくまで予想として計算しており、配当実施を決議したものではありません。



5

Appendix

参考資料

会社情報・事業内容・財務補足資料
はIRサイトよりご確認ください。

<https://broad-e.co.jp/ir/library/presentation/appendix.pdf>



YouTube

ブロードエンタープライズをより深く理解できる動画コンテンツを配信

【ブロードエンタープライズ(4415)IRチャンネル】

<https://www.youtube.com/@broadenterprise-ir>

【中西良祐チャンネル】

<https://www.youtube.com/@ryosukenakanishi>

X（旧Twitterアカウント）

代表 中西・常務取締役 畑江・IR担当が随時情報発信しております。



IRニュースレター

ご登録いただくとIR情報をいち早くお届けいたします。



<https://broad-e.co.jp/ir/mail/>

LINE公式アカウント

ご登録いただくと決算情報をいち早くお届けいたします。



<https://lin.ee/tTfDdb2>

お電話でお問い合わせ

06-6311-4511（内線④）

WEBフォームでお問い合わせ

<https://broad-e.co.jp/contact/>

メールでお問い合わせ

g-ir@broad-e.co.jp

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

